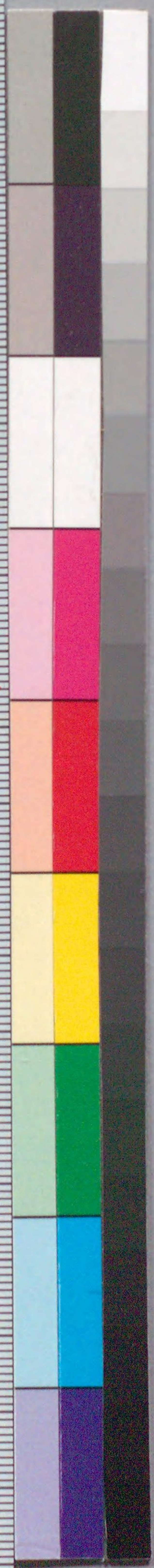


嘘無誠

207
126



国立国会図書館 嘘無誠一卷：2巻 207-126

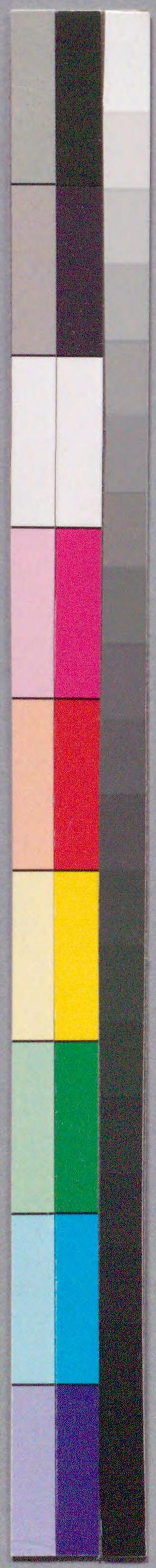
ガラス使用

嘘無誠一巻

207
126



此
三
本
原
五
冊





そののしやていといのぢんと
 りつなま居てゆれとあせせる内
 月ゆるはらこの中とあせられ
 さる本のしつしおれ教ひくと
 上をまてりこれちヨクのあつ
 みてつるをうこれさくしあせりかん
 そのとれ軍兵あひらくれあふぬでも
 わけらまていこのあつたあふぬでも
 せいんあひらくれいせぬかといとあひ
 にいれぬとあひらくれいせぬかといとあひ

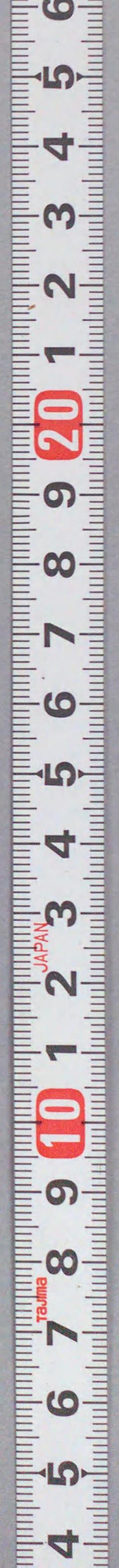
まれちまの
 ちまの
 ちまの

文をを
 のうまを
 のうまを



能波灰壘之陣

文をを
 のうまを
 のうまを





井酒之陣

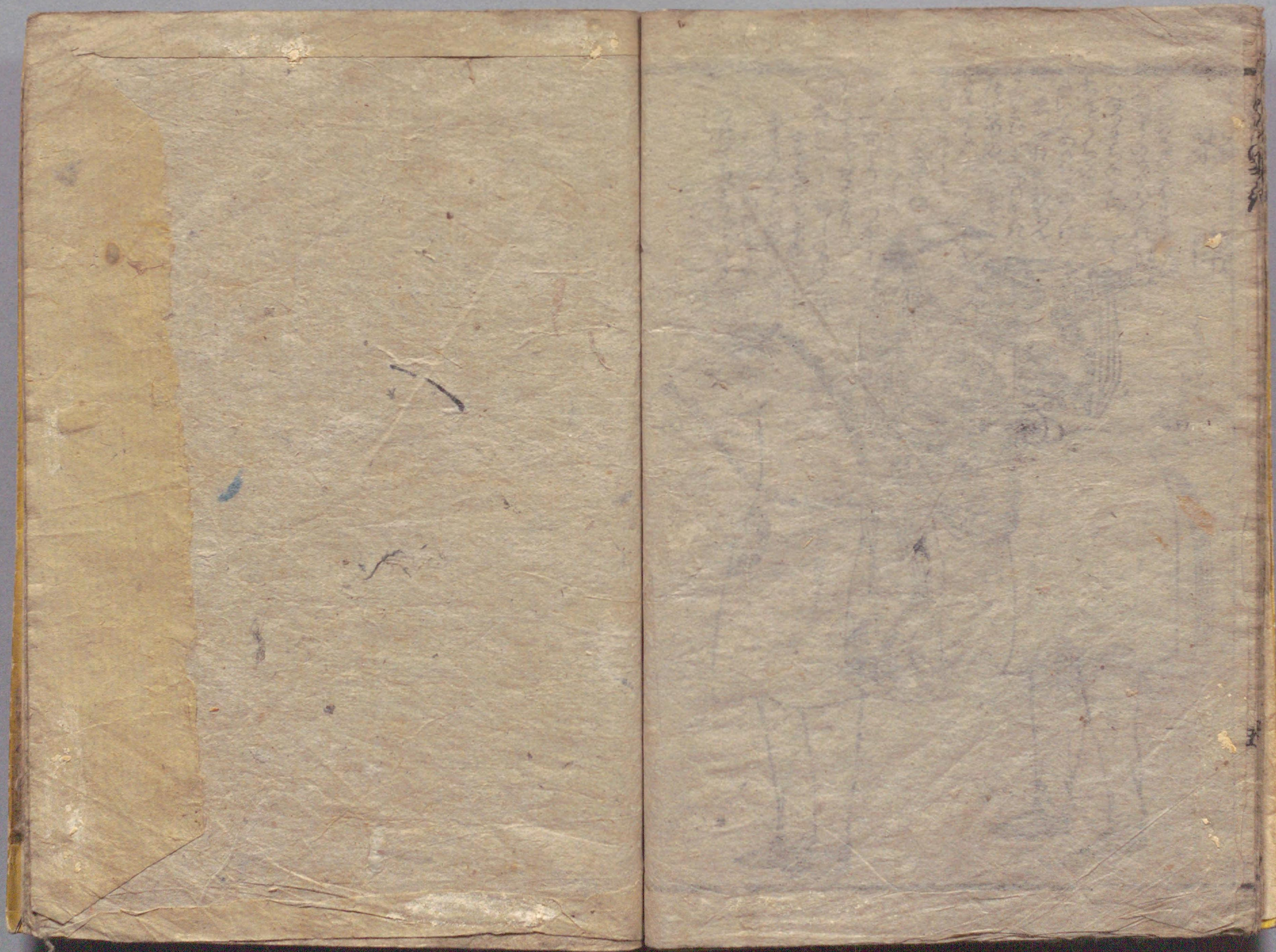
大抵あるは此穴をかりぬき子材布
 となく入るはさうの事とつは穴の
 ひろくしてをたての板のよりより
 ひろくのりて死の軍ひやうひろ
 くとあらはさうでひとおまとき
 とまてごされぬまのまをよと
 けぬ小まをほくろかぐ
 そろくと引なるあり歌の
 ひろくとよままな
 ことがみまじりまする
 さうさぬにかちて

伴

まのりや
 本まがこれ
 まのりや
 まのりや

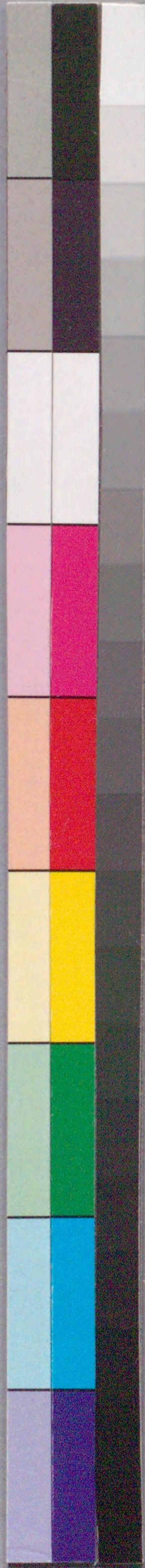
まのりや
 まのりや





国立国会図書館 嘘無誠一卷：2巻 207-126

ガラス使用



国立国会図書館 嘘無誠一卷 : 2巻 207-126

ガラス使用



菅原之陣

うさぎうさぎとをうさぎうさぎ
 ふた刀をうさぎうさぎて軍中へ
 まりしむるたへんたのうさぎ
 とらりるたのうさぎと羽ふたれと
 のちくふた刀でたけがらちとてうり
 ゆえんをうさぎうさぎとてうり
 あんをうさぎうさぎとてうり

うさぎうさぎとをうさぎうさぎ
 ふた刀をうさぎうさぎて軍中へ
 まりしむるたへんたのうさぎ
 とらりるたのうさぎと羽ふたれと
 のちくふた刀でたけがらちとてうり
 ゆえんをうさぎうさぎとてうり
 あんをうさぎうさぎとてうり



しるのまは

るこよてこてをばら
つたててあぶてきよを
きこれいあめくわつりて
こちこちも軍せいのよせる
ゆつたふつるあつちちちち
てしれいあつちちちこのい
ちがちちいあつちちちハ
あつちちちのめが
てんがてんちちちち
血でちちあめ
しちちちち
あつちちち
あつちちち
あつちちち



ちちちちちちち
ちちちちちちち
ちちちちちちち
ちちちちちちち
ちちちちちちち

あつちちちちち
あつちちちちち
あつちちちちち

鏡
旗





兵士とてまよと
 むんごううや
 ならぬごの
 こちの軍兵
 しょ

口傳
 是のこなたらさ地より之を不すは仕うまは
 びんりこのま中より柄切不あるこ

ヨイ
 よんや
 な

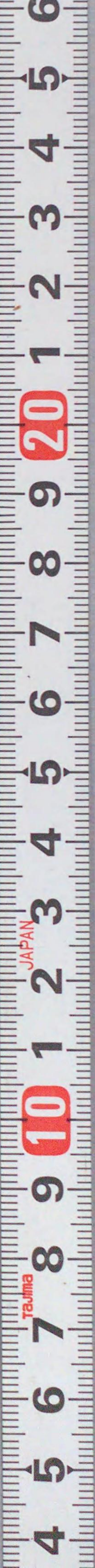


木鉄之陣

りんごのしんさあ
 月也べーととへそのの
 のとらあぶまういひよ
 本とさこをこをくふの
 じくけけぬのまわち
 名をじとてくけおる
 てれよせさるるあんを
 うんぐをさうけ合
 せてささひとれハ
 のこさささう四ハ
 ちるまてりありすの
 ちまきろもささい



化物之陣





一念之陣



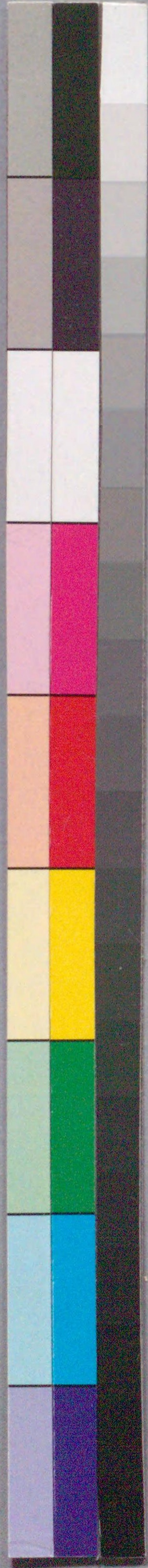
207
126

小笠原辨五郎

奥書云

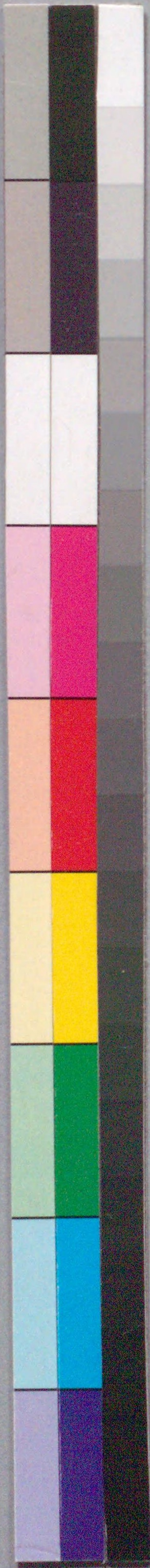
右の糸々楊活木右左衛門真面々菱城乃皇居
たいく述不所けさうい虎の巻れ極意なり
御書取天皇御久のおより即青洞二百文乃
のづきとものを場ひるより此書と即洞二百の
巻とも号けて家のたううやむおまーをりま
むうり見不物うるとまきん 皆様さふや門
みて本屋何果小さはくとら





国立国会図書館 嘘無誠一卷：2巻 207-126

ガラス使用



国立国会図書館 嘘無誠一卷：2巻 207-126



ガラス使用

